

Q25 「ひょうごの川・自然環境調査」とはどんな調査か？

A25 「ひょうごの川・自然環境調査」は、生物にとって重要な環境要因と生物との対応関係を明らかにし、人と自然が共生する川づくりを効果的に推進するための基礎情報を体系的に整備することを目的に、兵庫県が県下主要14水系を対象に、平成14年度から進めている調査です。

この調査は、従来型の調査とは異なり、河川環境を広域的・連続的に把握することのできる全国に先駆けた取り組みです。

また、調査成果は地理情報システム（GIS）を用いてデータベース化しており、収集した情報を効率的に処理し、成果を地図として効果的に表現することが可能です。

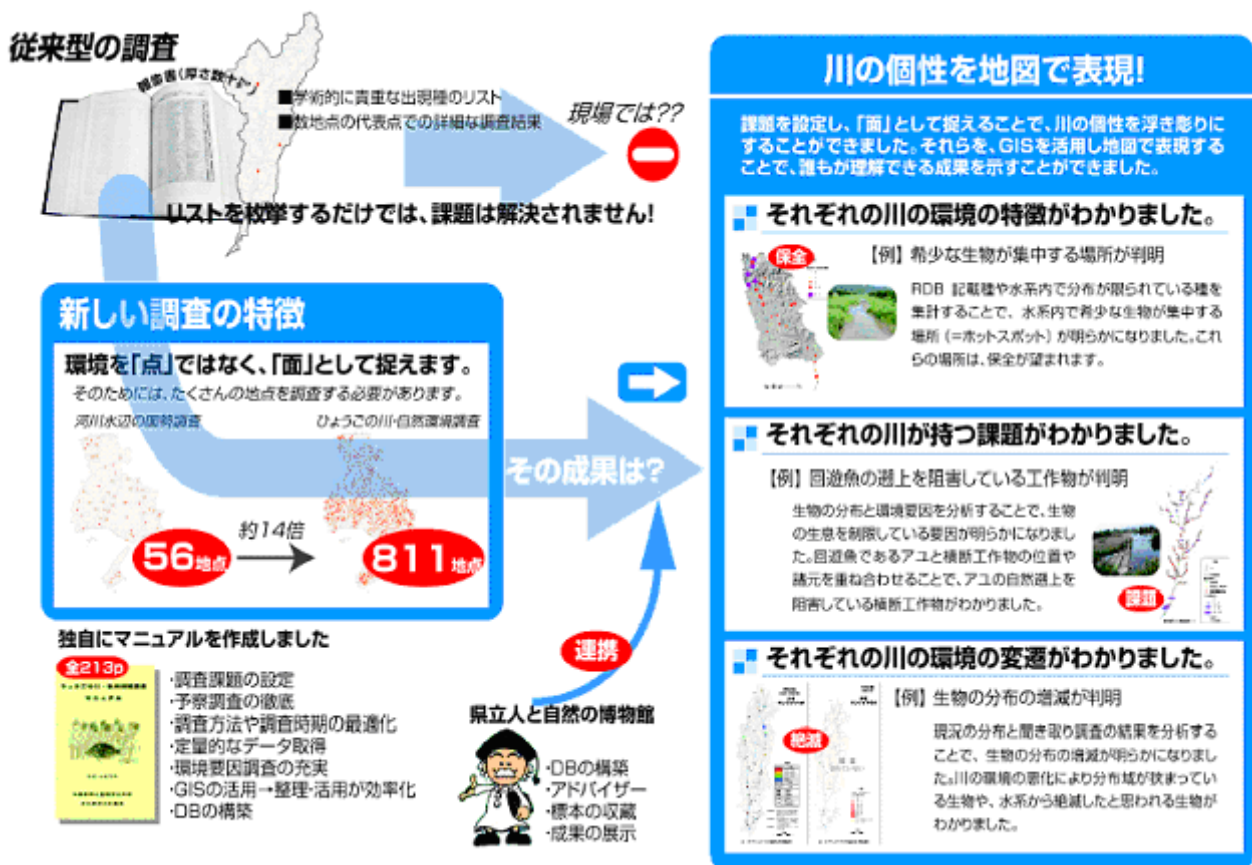


図1 ひょうごの川・自然環境調査の特徴

《具体的な調査内容》

河川調査	・河川の“器”としての特性（環境要因）を把握 横断工造物調査、河床縦断勾配調査、蛇行調査、水際環境調査、水温・水質調査、河道変遷調査、水域環境調査
植生調査	・河岸の植生を面的かつ連続的に把握 現存植生図作成調査、植物社会学的植生調査
魚類・底生動物調査	・生息現況だけでなく、分布の変遷を把握 資料調査、聞き取り調査、現地採集調査

河川調査の一部および植生調査は、沖積河川区間（比較的河川区域の広い区間）を対象に、その他の調査は全区間を対象に調査を実施しています。

《調査結果の活用》

調査結果を分析・評価（診断）することにより、誰もが理解しやすい「健康診断図」を水系毎に作成しています。この図から、水系のどこにどんな異常があるか、環境を保全すべき場所・事項は何かが、全体の中で把握でき、今後の具体的な対応（詳細な調査、検討）に活用していくことができます。

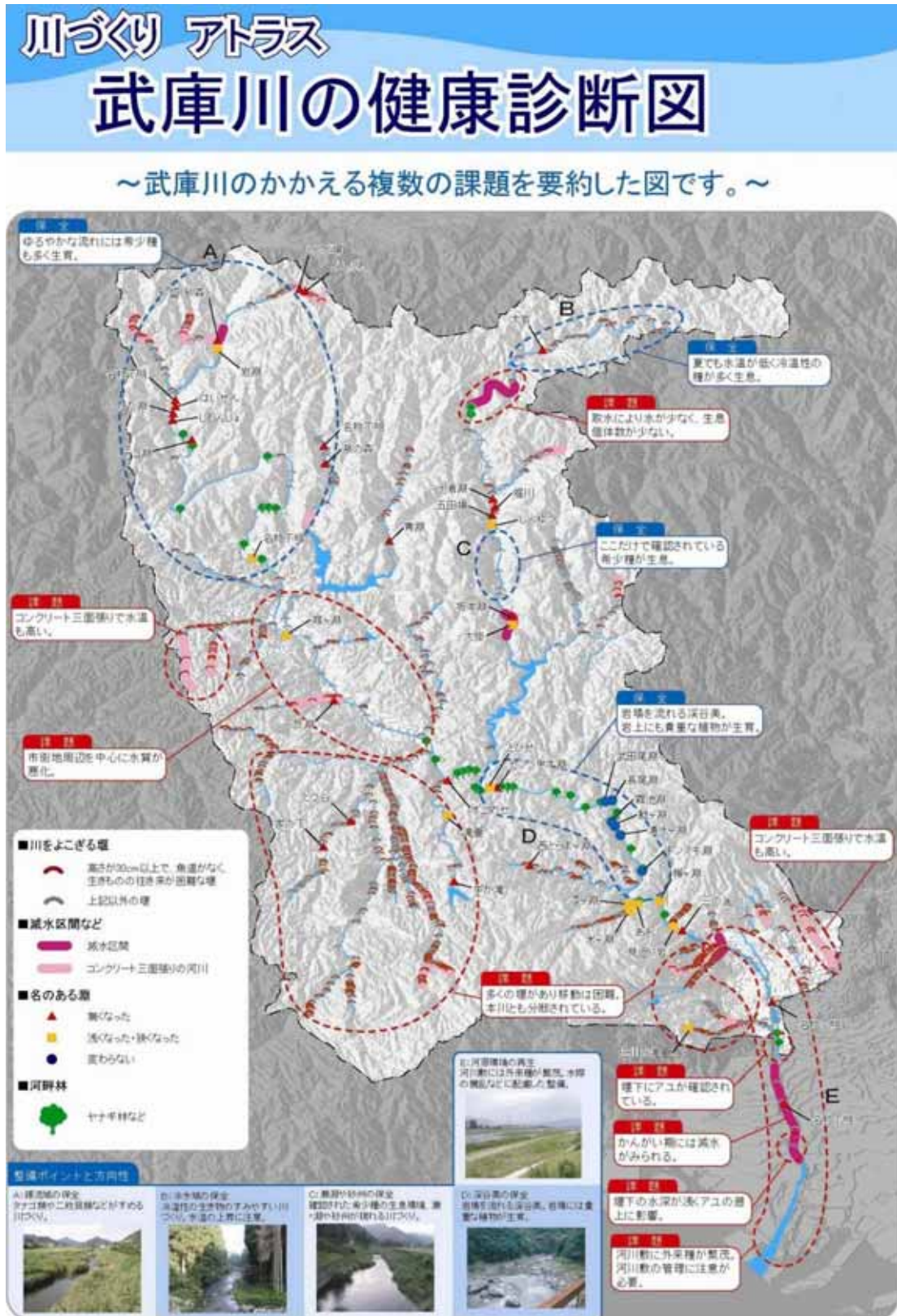


図 2 武庫川の健康診断図（一例）